

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称)田井島2丁目M新築工事	階数	地上11階、地下0階	
建設地	熊本市南区田井島2丁目564-2、565	構造	RC造	
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年6月30日	
敷地面積	1,135 m ²	作成者	原田 奈那子	
建築面積	334 m ²	確認日	2016年7月1日	
延床面積	2,684 m ²	確認者	伊東 正太郎	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																			
★ ★ ★ ★ ★		BEE = 0.9	■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																
100 50 0 0 50 100 3.0 1.5 BEE=1.0 0.5 S A B⁺ B⁻ C 38 0.9 39		■環境効率評価基準	<table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>	ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																
			BEE値	Q値																															
S	★★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																															
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																															
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																															
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																															
C	★	劣る	0.5未満	—																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率																																	
★ ★ ★ ★ ★		79%	■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																
			<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>★★★★★★</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>★★★★★</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>★★★★</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>★★★</td></tr><tr><td>100%超</td><td>★</td></tr></table>	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	★★★★★★	30%超60%以下	★★★★★	60%超80%以下	★★★★	80%超100%以下	★★★	100%超	★																				
判定値(排出率)	ランク表示																																		
30%以下	★★★★★★																																		
30%超60%以下	★★★★★																																		
60%超80%以下	★★★★																																		
80%超100%以下	★★★																																		
100%超	★																																		

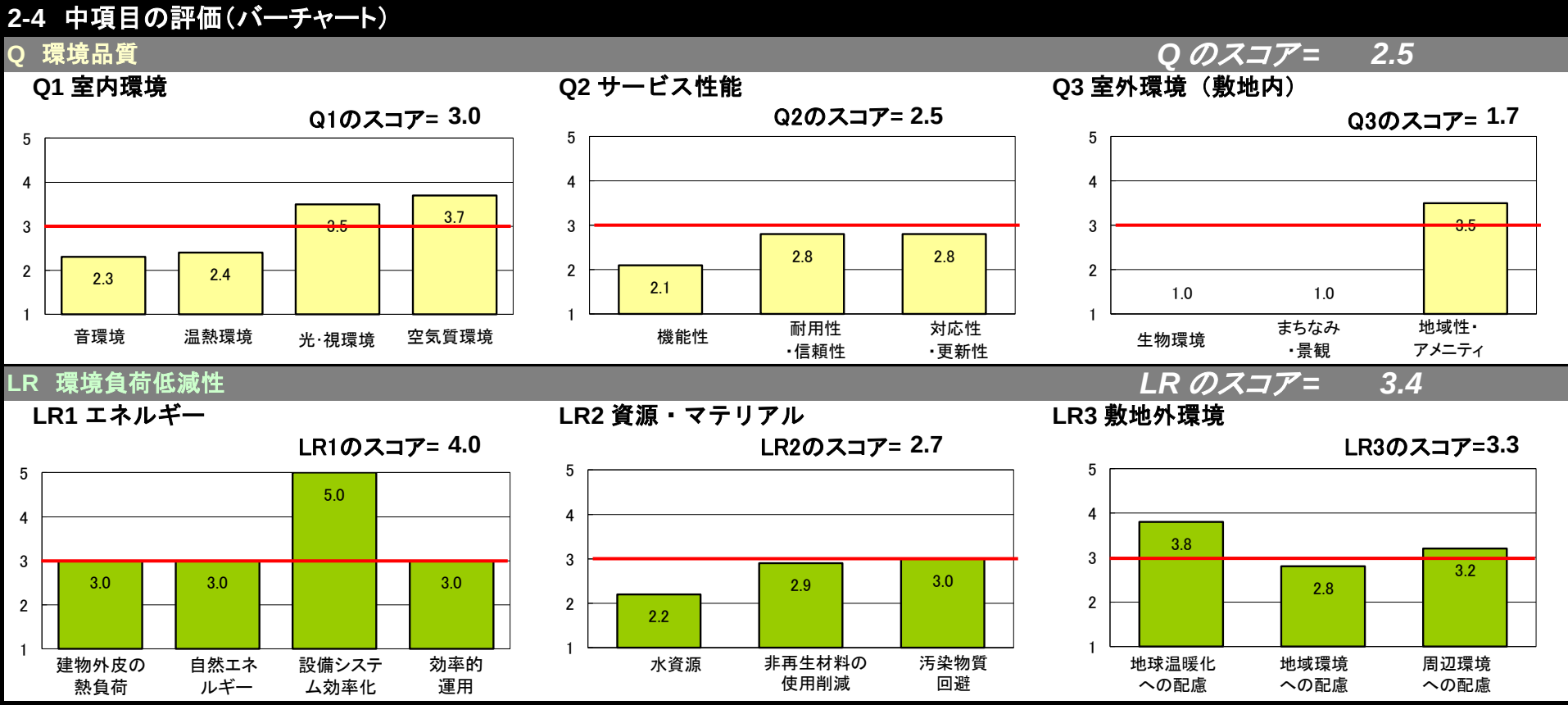
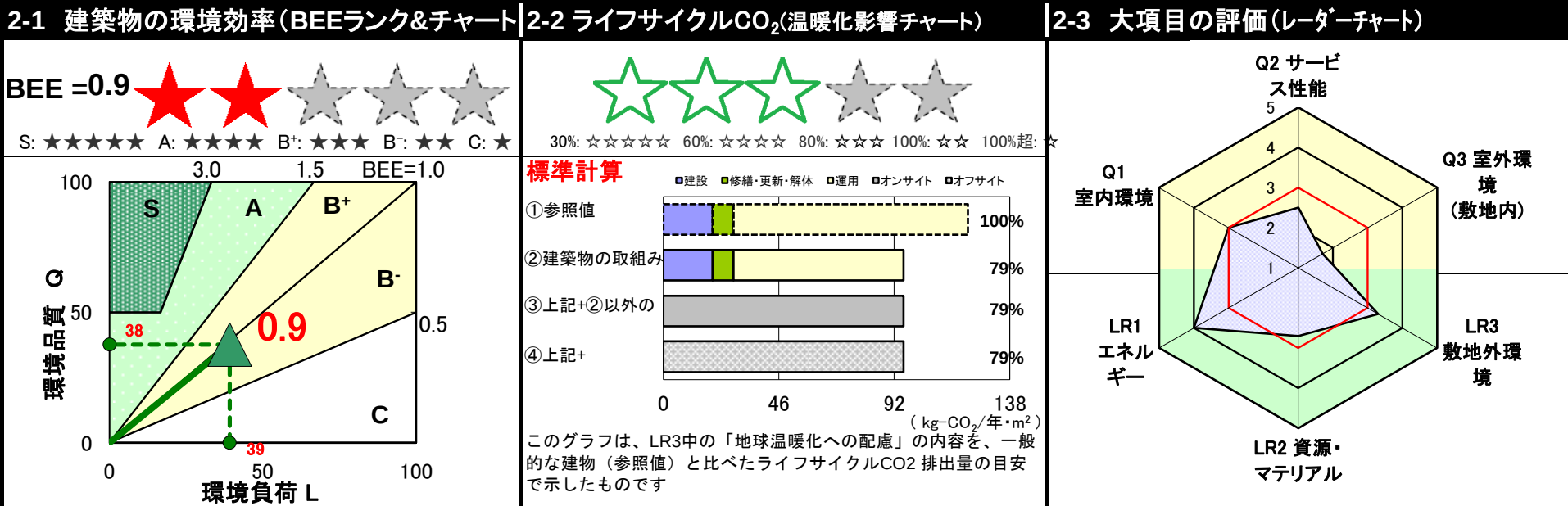
2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価			評価点
			72
	評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	87.3	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	70.0	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	50.0	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	65.6	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE®熊本《新築》 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)田井島2丁目M新築工事	階数	地上11階、地下0階
建設地	熊本市南区田井島2丁目564-2、565	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年6月30日
敷地面積	1,135 m ²	作成者	原田 奈那子
建築面積	334 m ²	確認日	2016年7月1日
延床面積	2,684 m ²	確認者	伊東 正太郎



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2014年版 (仮称)田井島2丁目M新築工事			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)			
スコアシート 実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
			評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							2.5	
Q1 室内環境				0.40		-	3.0	
1 音環境			2.0	0.15	2.5	1.00	2.3	
1.1 騒音		【住居部】洋室(寝室): 45dB(A)	3.0	0.50	4.0	0.50		
1.2 遮音			1.0	0.50	1.0	0.50		
1		開口部遮音性能	1.0	1.00	1.0	0.30		
2		界壁遮音性能	-	-	1.0	0.30		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	1.0	0.20		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音			-	-	-	-		
2 温熱環境			1.0	0.35	3.0	1.00	2.4	
2.1 室温制御			1.0	0.50	3.0	1.00		
1		室温	1.0	0.63	-	-		
2		外皮性能	1.0	0.38	3.0	1.00		
3		ゾーン別制御性	-	-	-	-		
2.2 湿度制御			1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式			1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境			2.3	0.25	4.0	1.00		3.5
3.1 昼光利用			1.8	0.30	4.0	0.50		
1		昼光率	1.0	0.60	5.0	0.50		
2		方位別開口	-	-	3.0	0.30		
3		昼光利用設備	3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		【住居部】効果的な昼光制御	2.0	0.30	4.0	0.50		
1		昼光制御	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度			3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御			3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境			4.0	0.25	3.6	1.00		
4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63		
1		化学汚染物質	4.0	1.00	4.0	1.00		
2		アスベスト対策	-	-	-	-		
4.2 換気			4.0	0.40	3.0	0.38		
1		換気量	3.0	0.50	3.0	0.33		
2		自然換気性能	-	-	5.0	0.33		
3		取り入れ外気への配慮	5.0	0.50	1.0	0.33		
4.3 運用管理			-	-	-	-		
1		CO ₂ の監視	-	-	-	-		
2		喫煙の制御	-	-	-	-		
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	2.5	
1 機能性			2.4	0.40	2.0	1.00	2.1	
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	2.0	0.60		
1		広さ・収納性	-	-	-	-		
2		高度情報通信設備対応	-	-	2.0	1.00		
3		バリアフリー計画	3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40		
1		広さ感・景観	-	-	3.0	0.50		
2		リフレッシュスペース	-	-	-	-		
3		内装計画	1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-		
1		維持管理に配慮した設計	3.0	0.50	-	-		
2		維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-		
3		衛生管理業務	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-		
1		耐震性	3.0	0.80	-	-		
2		免震・制振性能	3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			2.9	0.30	-	-		
1		躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-	-		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔	2.0	0.20	-	-		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.0	0.10	-	-		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-	-		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	5.0	0.20	-	-		
6		主要設備機器の更新必要間隔	2.0	0.20	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり				-	-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる 仕上材を痛めることなく更新・修繕ができる	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		1.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-	3.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	I 2) II 1) IV 2) V 1) V 2)	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI 非住宅 — 住宅(専有部) 0.84	5.0	0.50	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)			-	-	-	-	
	集合住宅の評価(3c)		高効率設備、LED照明の採用	5.0	1.00	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1	節水		1.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.60	-	-	2.9
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00	-	-	
	3	冷媒		-	-	-	-	
	LR3 敷地外環境				—	0.30	-	
1 地球温暖化への配慮			LED照明の採用・軽量鉄骨下地・フリーフロア	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-		
	3	悪臭	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	1.00	-	-	
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		-	-	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-		

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲の景観と調和するように、シンプルかつ落ち着いた外観デザインとした。
ゆとりある間取りで、各戸の快適性を重視した設計とした。

Q1 室内環境

居室の窓をなるべく大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、全室ビニルクロスを採用。
階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁仕上材の彩度を落としたデザインとし、周囲への太陽光の反射等の軽減を図る。

LR1 エネルギー

ベランダ（庇）を広めにとり、日射遮蔽性、断熱性能の向上を図る。

LR2 資源・マテリアル

限りある資源を有効に利用する。
ハロン消火剤を使用しない。

LR3 敷地外環境

道路境界からの離れをとる事で、周囲への圧迫感が軽減されるように配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)田井島2丁目M新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2015年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		72
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				87.3	0.40	34.92
Q1-2.1.2	外皮性能	2.4	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.4	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				70	0.20	14.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				50	0.20	10.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	1.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				65.6	0.20	13.12
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.9	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	2.9	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数